

平成21年3月期
第2四半期のご報告

Interim Report 2008



人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、
社会のために幸せを創造する。

当第2四半期連結累計期間の業績

● 売上高 **11,454**百万円

● 経常損失 **10**百万円

● 四半期純損失 **60**百万円

● 配当金 **16円50**銭

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、平成21年3月期【第2四半期のご報告】（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

当社は創業以来、一貫して「水」に関わりを持ち、地域に密着した営業活動のもとお客様のニーズを汲み上げ、付加価値の高い独自製品を開発するという事業展開を行ってまいりました。今後は、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する。」という経営理念のもと、培ってきた営業的・技術的ノウハウを活かし、上下水道関連資材分野を事業の基盤としつつ、雨水関連分野、さらには、「水分野」という枠を一步出た、総合的な生活環境の向上という視点での提案開発活動も行っております。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、当期の中間配当金につきましては、12月15日にお支払いすることを決定させていただきましたので、宜しくご了承を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



代表取締役会長
石橋 泉三



代表取締役社長
難波 理夫

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の混乱や、一段と高騰を続ける原油価格により、減速感がより一層強まってまいりました。

当社グループの関連する上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましても、依然として低調な公共投資と減少基調で推移する新設住宅着工戸数に加えて、再三再四にわたる原材料の値上げにより厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、省エネルギー・環境配慮をテーマに、水環境システム「アジティス」の本格事業化と、雨水マス・雨水浸透マスや貯留浸透槽からなる雨水処理システムの構築で、次代を担う新分野確立に努めております。また、ビニヘッダーや基礎貫通スリーブ、排水用吸気弁などで構成する排水システム部材の拡販に向けて営業力強化を図っております。

一方、生産体制の合理化と業務の効率化を追求し、さらなるコストダウンに努めてまいりましたが、市場環境の悪化による上水道・下水道製品の需要停滞が長引いているため、原材料値上げにともなう製品への価格転嫁が思うように進捗いたしませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高114億54百万円、営業損失1億51百万円、経常損失10百万円、四半期純損失60百万円となりました。

通期の見通し

平成20年11月12日に発表いたしましたように、通期の業績予想につきましては、世界的な金融不安の影響による景気の減速や、不安定な原燃料価格が予想されることから、当第2四半期連結累計期間の業況を踏まえ修正いたしました。

修正後の通期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高	23,600百万円
営業損失	10百万円
経常利益	170百万円
当期純利益	40百万円

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 H20.9.30現在
資産の部	41,931,864
流動資産	19,410,722
現金及び預金	5,871,703
受取手形及び売掛金	8,959,808
有価証券	756,117
たな卸資産	3,159,694
繰延税金資産	258,848
その他	524,349
貸倒引当金	△119,800
固定資産	22,521,141
有形固定資産	13,677,393
建物及び構築物	5,054,792
機械及び装置	2,380,140
工具器具及び備品	1,270,301
土地	4,933,747
その他	38,412
無形固定資産	445,122
のれん	152,633
ソフトウェア	275,604
その他	16,884
投資その他の資産	8,398,625
投資有価証券	7,632,512
その他	772,396
貸倒引当金	△6,283
資産合計	41,931,864

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 H20.9.30現在
負債の部	7,388,514
流動負債	6,820,503
支払手形及び買掛金	4,768,522
短期借入金	604,657
未払法人税等	69,072
賞与引当金	389,000
その他	989,251
固定負債	568,011
長期借入金	63,300
繰延税金負債	327,633
役員退職慰労引当金	71,300
その他	105,777
純資産の部	34,543,349
株主資本	33,946,320
資本金	3,387,300
資本剰余金	6,363,390
利益剰余金	24,498,914
自己株式	△303,283
評価・換算差額等	526,060
その他有価証券評価差額金	526,060
少数株主持分	70,968
負債及び純資産合計	41,931,864

● 資産、負債及び純資産の状況

資産は主に、有形固定資産の減価償却、投資有価証券の時価下落などにより減少したものの、現金及び預金やたな卸資産が増加し、419億31百万円となりました。負債は、主に、原材料購入による支

払手形及び買掛金が増加し、73億88百万円となりました。純資産は、評価・換算差額等の減少や四半期純損失、剰余金の配当により、345億43百万円となりました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 H20.4.1～H20.9.30
売上高	11,454,211
売上原価	8,621,996
販売費一般管理費	2,983,797
営業損失(△)	△151,581
営業外収益	162,741
営業外費用	21,420
経常損失(△)	△10,260
特別利益	4,292
特別損失	15,830
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,798
法人税、住民税及び事業税	57,190
法人税等調整額	△13,738
少数株主損失(△)	△5,082
四半期純損失(△)	△60,166

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 H20.4.1～H20.9.30
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	1,570,327
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△598,332
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	△198,066
現金及び現金同等物の増減額	773,928
IV. 現金及び現金同等物の 期首残高	3,232,611
V. 現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,006,540

● キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得た資金は、減価償却費9億51百万円の計上、仕入債務7億44百万円の増加などにより、15億70百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、定期預金の預入による支出26億円と有形固定資産の取得による支出4億25百万円などにより、5億98百万円となりました。財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の返済による支出9億円と配当金の支払2億56百万円などにより、1億98百万円となりました。

■ 会社概要

Corporate Data

平成20年9月30日現在

商号	前澤化成工業株式会社 MAEZAWA KASEI INDUSTRIES CO., LTD.
設立	1954年12月10日
資本金	33億8,730万円
社員数	543名(単体) 665名(連結)
事業内容	(1) 硬質塩化ビニル管および継手の製造、販売 (2) 量水器ボックス・バルブ等上水道用機材の製造、販売 (3) インパトマス・掃除口等下水道用機材器具の製造、販売 (4) 小型浄化槽・雑排水処理槽等住宅関連機器の製造、販売 (5) 浄化槽等水処理機器の製造、販売および工事

役員	代表取締役会長	石橋 泉 三	共和成型株式会社 代表取締役社長
	代表取締役社長 上席執行役員	難波 理 夫	営業本部長
	常務取締役 上席執行役員	池嶋 勝 治	熊谷工場長兼技術部長兼水環境技術部長 兼生産企画部長兼品質保証担当
	常務取締役 上席執行役員	遠藤 俊 哲	総務部長 兼総務人事・経理・IR・内部統制担当
	取締役 上席執行役員	湯浅 茂	営業副本部長兼中部支店長
	取締役執行役員	矢代 直 志	研究開発部長
	取締役執行役員	吉岡 典 彦	熊谷副工場長兼資材部長
	常勤監査役	樋口 二三昭	
	監査役	大塚 宏	公認会計士
	監査役	齋藤 榮	弁護士
	監査役	高橋 徹	特定社会保険労務士
	執行役員	小林 良 明	営業企画部長
	執行役員	石田 雄 二	中国支店長
	執行役員	住友 耕 次	九州支店長
	執行役員	窪田 政 弘	大阪支店長
	監査役	大塚 宏・同 齋藤 榮および高橋 徹の3氏は、社外監査役であります。	

■ 株式の状況

Stock Information

平成20年9月30日現在

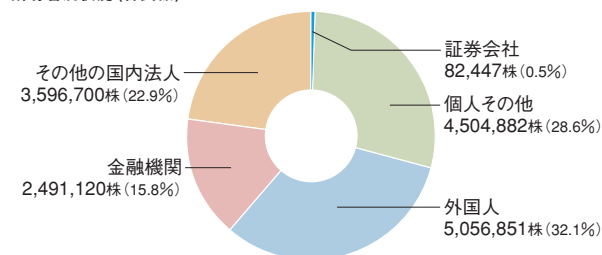
発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	15,732,000株
株主数	7,017名

● 大株主

株主名	所有株数(千株)	出資比率(%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,072	13.17
前澤工業株式会社	879	5.58
前澤給装工業株式会社	842	5.35
ザバンク オブ ニューヨーク ノント リーティー ジャスデック アカウント	654	4.16
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505420	461	2.93
ダンスケ バンク クライアーツ ホールディングス	425	2.70
モルガン・スタンレー アンド カンパニー インク	420	2.67
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4G)	373	2.37
財団法人前澤育英財団	360	2.28
株式会社りそな銀行	291	1.85

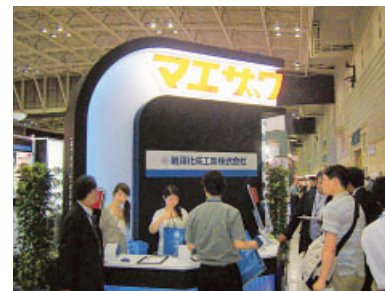
● 株式分布状況

所有者別状況(株式数)



■ トピックス

Topics



2008年7月22日(火)～25日(金)の4日間、パシフィコ横浜にて、今年も『下水道展'08横浜』が開催され、当社も参加いたしました。

家庭用新世代排水システムの『ピニヘッダー』や、「第3の水分野」として取り組んでいる雨水関連分野の『雨水マス』『雨水浸透マス』といった、現在、特に当社が力をいれている製品群の展示に、大きな注目が集まりました。

また、省エネルギーで高効率な水処理を実現する高度水処理システム『アジティス』は、今回、下水道展では初めての展示となりましたが、多数の質問を受けるなど来場者の興味を引いていたようです。

イベントは、4日間で、83,000人を超える来場者を数えました。当社ブースをご訪問いただいた多くのお客様より、評価の言葉を頂きましたことをここにご報告し、お礼申し上げます。



株券電子化に伴うご案内

◇株券電子化実施後の手続のお申出先について
平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、手続のお申出先が変更となります。

◇株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて
株券電子化制度への移行に伴い、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様に関しまして、一時お取扱いを変更させていただきます。

◇株券電子化実施後の配当金受取方法のお取扱いについて
株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。

詳しくは、お取引証券会社等または株主名簿管理人までお問い合わせください。

IRカレンダー

2008年11月	第2四半期決算短信発表 第2四半期決算説明会(東京)
2009年2月	第3四半期決算短信発表
5月	決算短信発表(東京) 決算説明会
6月	第55回定時株主総会(東京)

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月	
単元株式数	100株	
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
公告掲載URL	http://www.maezawa-k.co.jp/	
上場取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	7925	
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店	
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)	
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店	

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求および買増請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



前澤化成工業株式会社

東京都中央区八重洲二丁目7番2号
TEL:03-3275-0711(代表)

<http://www.maezawa-k.co.jp/>



本誌は地球環境を考えたアロマフリー型大豆インキを使用しています。